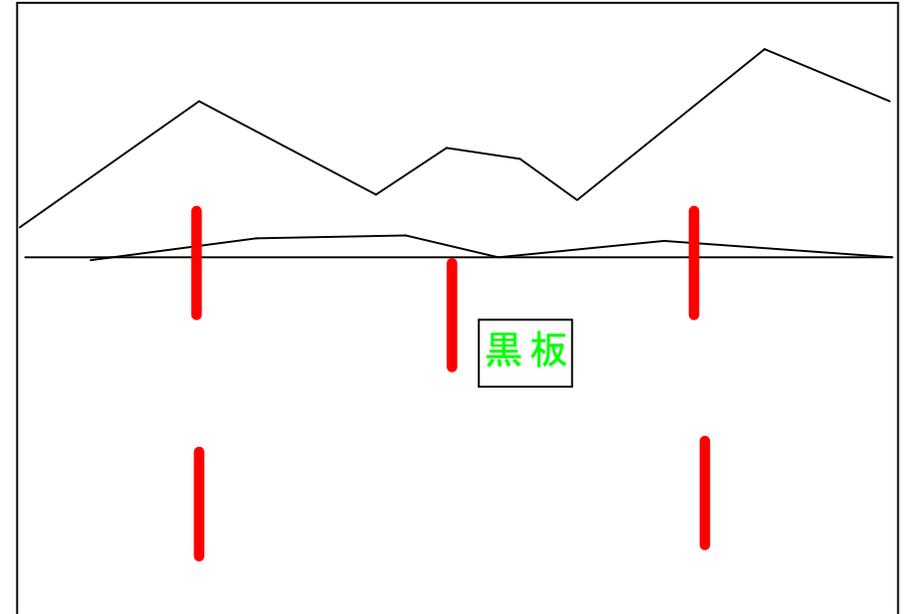


「千葉県土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び
災害の発生防止に関する条例」に関する地質試
料採取についての注意事項

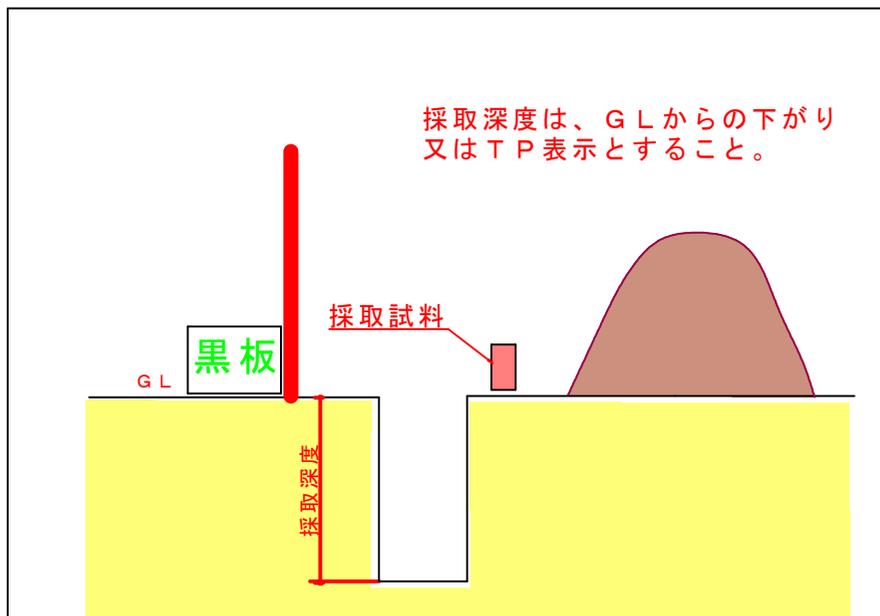
試料採取写真の撮影について

- ① 試料採取前の全景
5地点すべてのポールが写るように撮影する。
- ② 個々の試料採取状況
個々について採取深さ、採取状況、採取後が確認できるように撮影する。
- ③ 全試料採取後の写真
5個の試料を並べて撮影する。

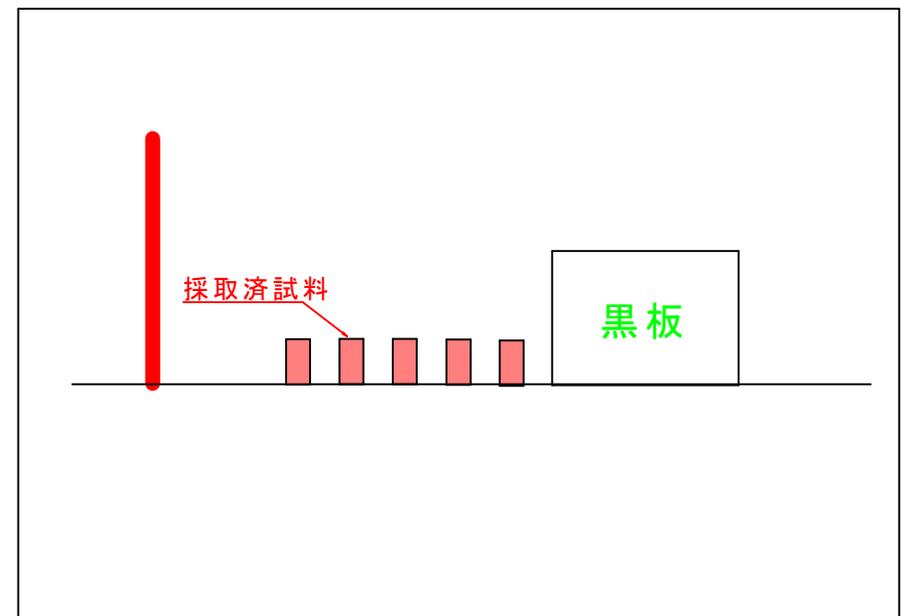
試料採取前の全景



個々の試料採取状況



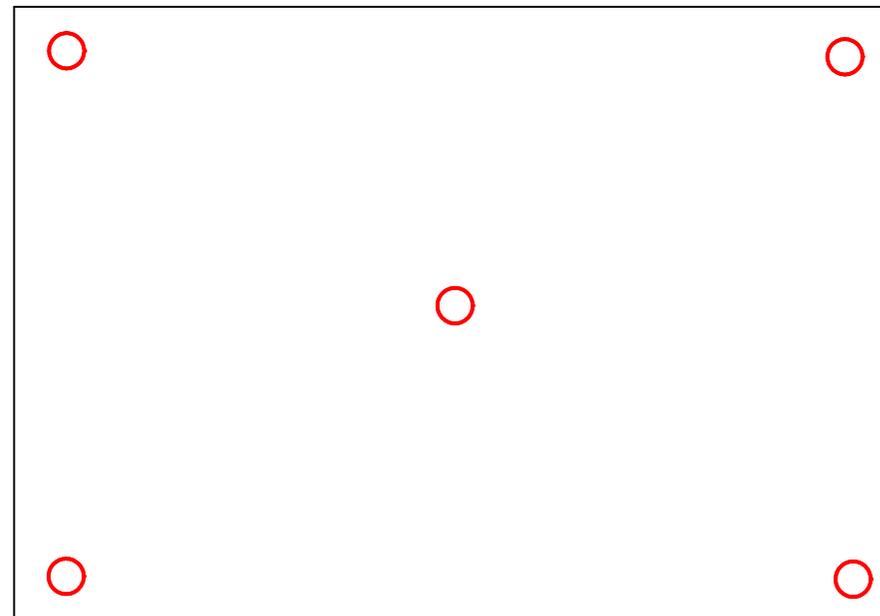
全試料採取後の写真



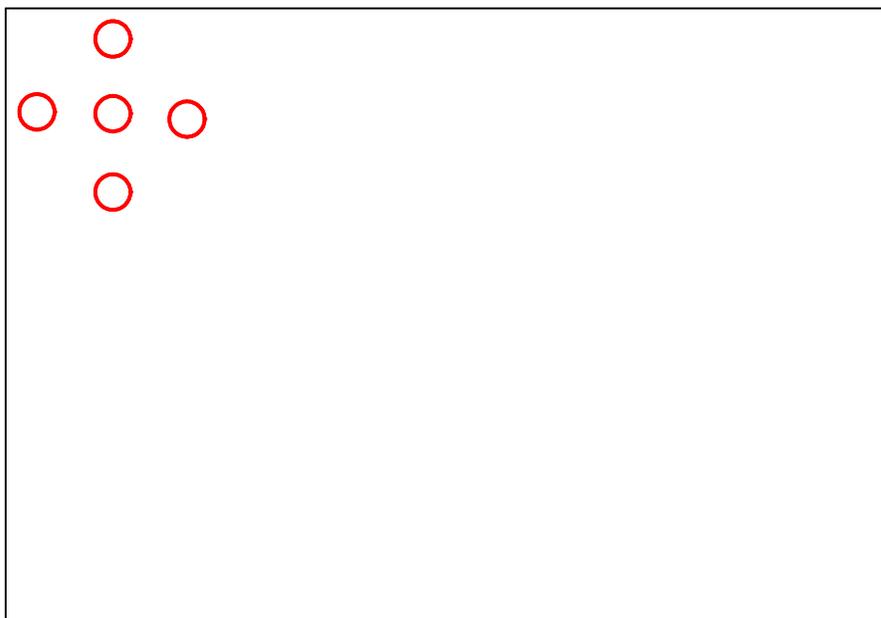
敷地が広い場合の試料採取位置について

敷地面積が広い割に採取検体数が少ない場合、個々の試料採取位置は環境省令に準ずることなく、敷地全体の安全を確認できるように採取すること。

良い採取例



悪い採取例 1



悪い採取例 2



土砂搬出範囲が、延長方向に長い場合の試料採取

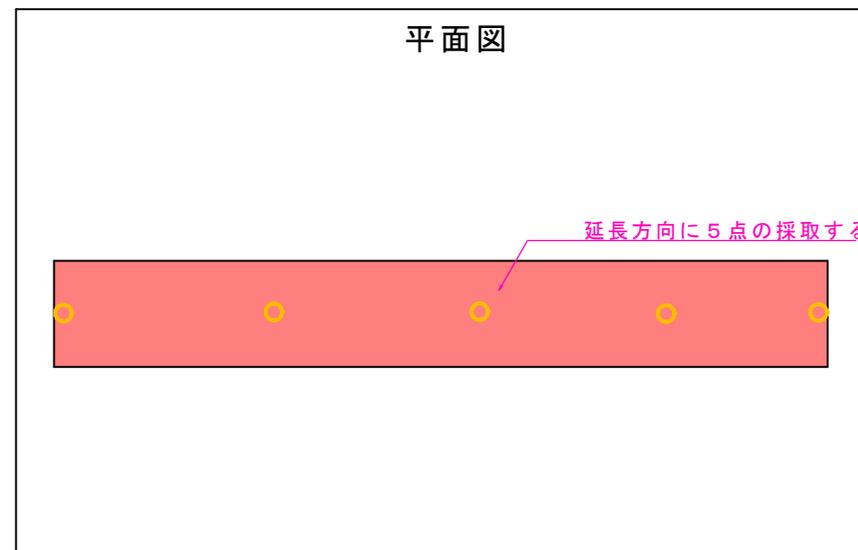
①図のように掘削範囲が延長方向に長い場合は、延長方向で5点採取して1試料とする。

さらに

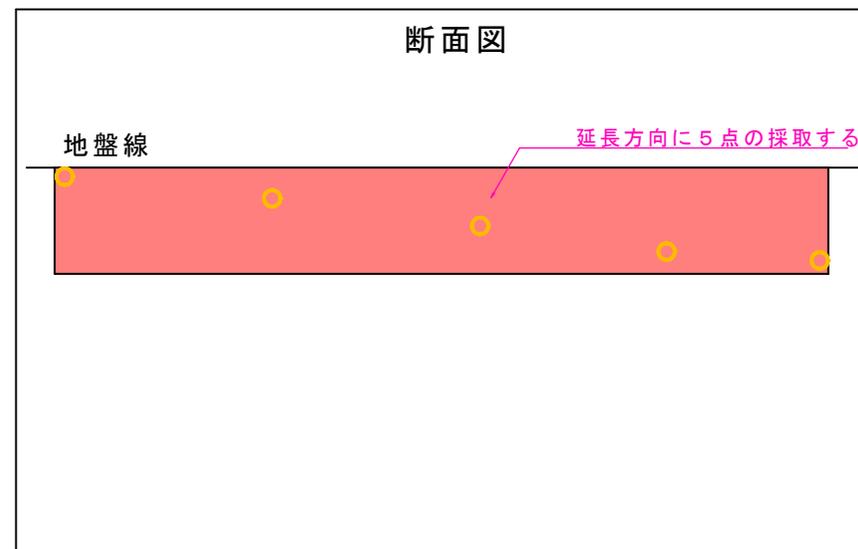
②図のように、試料採取深さを変える。



①



②



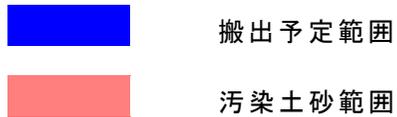
地表面付近での採取試料ですべて安全であると判断するのは危険なケース

①図のように掘削深さが5.0m以上ある場合、地表面付近だけで試料採取すると、下部にある汚染土砂も安全と判断して搬出されてしまう。

【対応策】

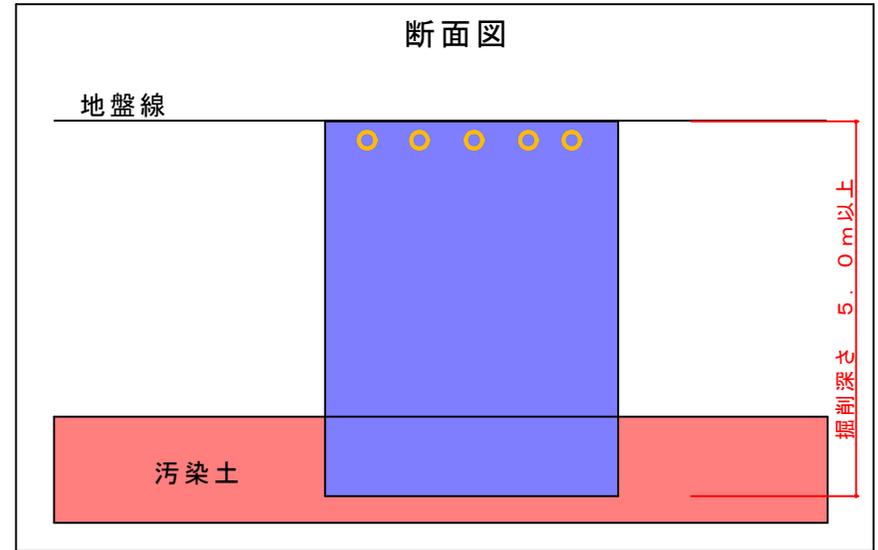
②図のように、5,000m³未満であっても、深度方向に分割して検体数を増やし、さらに試料採取深さを変える。

③図のように事前にボーリングによる試料採取を行い、掘削範囲全体の安全を確認する。掘削面積によっては1本でも可とする。
(たとえば10m×10m)

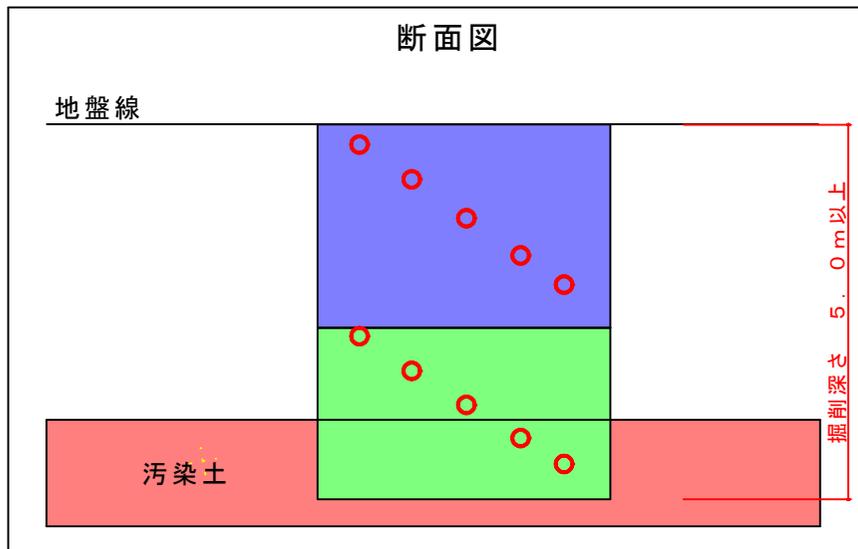


- 試料採取位置 (地表面付近だけで実施した場合)
- 試料採取位置 (搬出土砂全体で実施した場合)

①



②



③

